

研究実施のお知らせ

2016年5月27日 ver.1.0

研究課題名

婦人科がん患者におけるパクリタキセル過敏症発現の予防に対するデキサメタゾン投与量の影響

研究の対象となる方

2011年4月から2017年3月の間に島根大学医学部附属病院で婦人科がんと診断され、パクリタキセル注による治療を受けられた方
調査時の年齢が20歳以上の女性

研究の目的・意義

パクリタキセルを初回投与した婦人科がん患者を対象に、過敏症発現の予防効果におよぼすデキサメタゾン投与量の影響を明らかにすることを目的とします。

パクリタキセルによるがん化学療法を受ける患者さんでは、パクリタキセルによると考えられる過敏症が高頻度に発現します。その予防目的にデキサメタゾンを含む前投薬が行われますが、その際、他の薬との飲み合わせにより、デキサメタゾンが減量されることがあります。その場合の過敏症予防効果の検証が行われていないため、本研究による調査により、臨床上必要な情報を得ることができます。このことにより、パクリタキセルによる過敏症発現予防効果の向上につながり、がん化学療法を受ける患者さんのQOLを向上させることが期待されます。

研究の方法

病院情報システムを用いて2011年4月から2017年3月の期間にパクリタキセルが初回投与された際に生じた過敏症の発現状況を調査します。また、患者さんの治療や検査の結果を調査します。

この研究で得られた患者さんの情報は、匿名化し取り扱いますが、研究対象者の識別は登録時に付与される登録番号によって行い、研究対象者との対応表は収集データとは別に薬剤部内にて保管します。

本研究に携わるすべての研究者は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って本研究を実施します。

研究の期間

2016年7月～2018年3月

研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院／薬剤部が行います。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身のデータを研究に利用してほしい方、その他ご質問のある方は次の担当者(研究責任者)にご連絡ください。

島根大学医学部附属病院 薬剤部 直良浩司
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2461 FAX 0853-20-2475